

各協同組合からのお知らせ  
MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

## 2007 年度みやぎ生協の環境測定活動 ～身近な環境を調べることで、 わかることがいっぱい～

### 水辺の観察と水質測定

2007 年 7 月 21 日～8 月 20 日の間に取り組んだ宮城県内の河川・湖沼・海域の『水辺の観察と水質測定』の報告書および宮城県内の「おすすめの水辺」を特集したダイジェスト版が完成しました。ご希望の方は、下記までご連絡ください。

また、全ての測定結果については、みやぎ生協ホームページ内『みやぎの水辺ものがたり』に掲載しております。

<http://www.miyagi-mizube.com/>

詳しい報告書をご希望の方、08 年度の測定に参加希望の方は下記までご連絡ください。

〒981-3194 仙台市泉区八乙女 4-2-2 みやぎ生協生活文化部 環境活動事務局  
TEL022-218-3880 FAX022-218-3663 メール:kankyook@snet.coop.or.jp

### 酸性雨一斉測定

毎年梅雨時期に自宅に降る雨を測定し、雨の影響などを調べています。

調査期間 / 2007 年 6 月 11 日～7 月 10 日  
調査地点 / 2,537 地点  
調査方法 / 自宅または校庭などで 24 時間採雨し、BCG パックテスト法による pH の測定。

調査の結果、pH の中央値は 4.8 でした。これは、昨年と同様の値で、17 年間の測定で 2 番目に酸性度が強くなっています。植物などに影響が出ると言われている pH4.5 以下の雨の割合は 32.9% でした。



©MIC



## MELON20 周年をめざせ!

# 50 人リレートーク



第 19 回目の執筆者  
佐々木真奈美さん  
(フリーアナウンサー)  
「いだますい」のココロ

いたましい [動詞「痛む」の形容詞形] = 見てられないほどにかわいそうだ。痛々しい。

私の育った宮城県の北部では、まだ食べられるのに捨てられてしまう物や、うっかり腐らせてしまった物に対して、また、まだまだ使えるのに捨てなければならなくなってしまったときに「いだますいなあ。」「いだましいごだ。」という言葉を使う。標準語で言うところの「勿体ない」と似たような意味合いだが、「勿体ない」とは仏教用語で「物の本来あるべき姿がなくなるのを惜しみ、嘆く気持ちを表している」のに対して、「痛ましい」は「物」に宿る魂のようなものに対しての気持ちが込められているような気がする。

学生時代に読んだ小説でインディアンを題材にしたものがあつた。インディアンは、この世の中に存在するありとあらゆる物には魂が宿っ

ていると考えている。小説は、物を粗末に扱った現代の人間たちが物たちに復讐されるという内容だったと記憶している。

「痛ましい」は、どちらかといえば、このインディアンの考えに近いのかもしれない。

子どもの頃から「いだますい」で育った私は、今でも物を捨てるときに申し訳ない気持ちで一杯になる。それは、「勿体ない」と言うより「ちゃんとしてあげられなくてごめんね」という気持ちになるからだ。だから、なかなか物を捨てることができない。いや、決して、「片付けられない」言い訳ではないのだが。

ケニア出身の環境保護活動家のワンガリ・マータイ氏が日本の「勿体ない」に深く感銘を受け「もったいない運動」をされているが是非、宮城県の「いだますい」も運動に加えて欲しいものだと思っている。無理でしょうけど… (笑)

\* 次回執筆者紹介 \*

渡邊一生さん (東日本放送)  
番組製作を担当する他、1990 年から展開している「KHB グリーンキャンペーン」の実施等に携わる。

